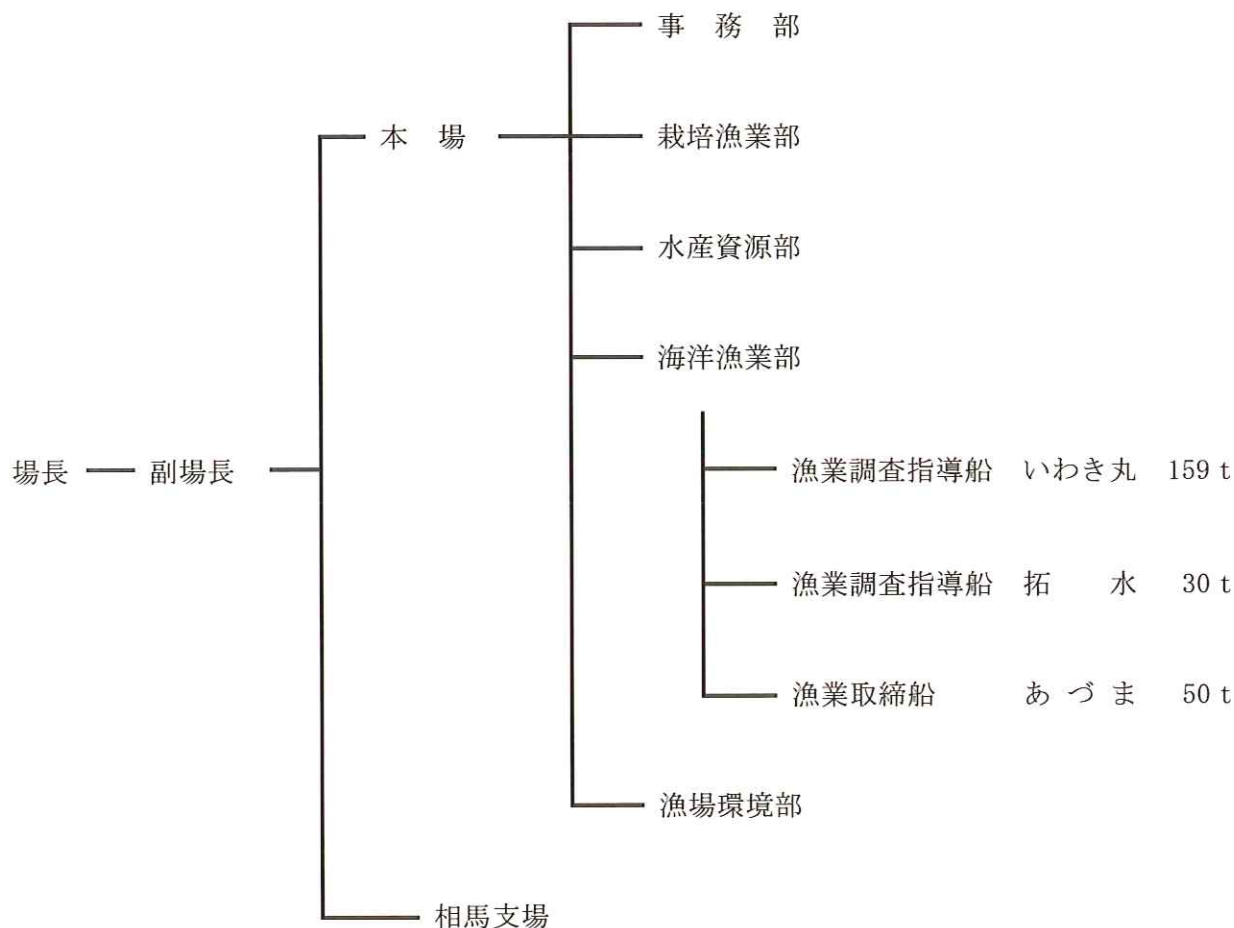


そ の 他

I 庶務一般

1 組織・機構



本場 〒970-0316 いわき市小名浜下神白字松下 13-2
電話 0246-54-3151~3 FAX 0246-54-9099
E-mail suisansi@pref.fukushima.jp
ホームページ <http://www.pref.fukushima.jp/suisan-shiken/index.htm>

支場 〒979-2542 相馬市成田字五郎右エ門橋 100(農業総合センター浜地域研究所内)
電話 0244-35-2777 FAX 0244-35-2778
E-mail suisansi.souma@pref.fukushima.jp

2 内部組織

- 図書委員会 : 購入、受入れ図書、資料の整理、管理
- 広報委員会 : 水試 HP の作成と広報企画、参観デーの企画・運営
- 編集委員会 : 研究報告、事業報告書の編集
- 研究支援委員会 : 研究評価委員会の企画・調整、研究成果発表会・移動水試の企画運営
みさき研究会の開催・運営

3 平成 22 年度事業別予算

款	項	目	事業	予算額(千円)
総務費	総務管理費	人事管理費		844
				844
				844
衛生費	環境保全費	原子力安全対策費		2,530
				2,530
				2,530
労働費	雇用対策費	緊急雇用対策費		3,814
				3,814
				3,814
農林水産業費	農業費	農業総務費		174,248
				2,311
				2,207
	水産業費	農業改良振興費		104
				171,937
				17,519
				8,734
				145,684
		場運営事業		
		漁業調査指導事業		
		無線局運営事業		
		水産試験場試験研究費		
		漁況予測手法開発試験		
		水産資源の持続的利用技術開発試験		
		地域水産資源の高度利用技術開発試験		
合 計				181,436

II 平成23年度の刊行物

- 1 平成22年度事業概要報告書（福島県水産試験場ホームページに掲載）

III 研究結果検討会・外部発表・一般公開等

1 研究結果検討会等

- (1) 水産試験場試験成績検討会

開催日 平成23年 1月20、21日

開催場所 水産試験場会議室

「平成22年度試験成績」39課題うちの24課題の発表があった。

- (2) 平成22年度「普及に移しうる成果」、「参考となる成果」

普及成果として3課題、参考成果10課題を選定して、農林水産技術会議に提出した。

成果課題名	区分	担当者
漁獲されたズワイガニ(オス)の最終脱皮の特徴	普及成果	鷹崎 和義 ほか
本県産アオメエソ(メヒカリ)の優位性	普及成果	富谷 敦 ほか
ヤナギムシガレイの資源解析・資源診断	普及成果	岩崎 高資 ほか
アワビ人工種苗のエゾヒトデによる被食実験	参考成果	平川 直人
福島県における近年のサケ来遊状況	参考成果	新関 晃司
ホシガレイの漁獲規制による管理効果試算	参考成果	神山 享一 ほか
ヒラメ天然稚魚の発生状況	参考成果	新関 晃司 ほか
ヤリイカの初漁期漁獲量を用いた漁況予測	参考成果	早乙女忠弘 ほか
メイタガレイ類の成長と漁獲加入について	参考成果	伊藤 貴之 ほか
サキグロタマツメタの駆除努力評価	参考成果	富山 毅
ヒトエグサの芽落ちと水温および塩分の関連性	参考成果	富山 毅
常磐海域におけるヒラメの食物利用の地理的変異	参考成果	富山 毅
放流後のヒラメ種苗の成長と回収率の関係	参考成果	富山 毅

2 シンポジウム等における課題発表

(1) 課題発表

シンポジウム等の名称	発表課題名	発表者	年月日	開催地
平成 22 年度日本水産学会秋季大会	福島県におけるホシガレイの漁獲実態と放流効果	和田敏裕 他	H22. 9. 23	京都市
同 上	バイオテレメトリーによるホシガレイ種苗の松川浦移動分散の解明	和田敏裕 他	同 上	同 上
平成 22 年度日本水産学会東北支部大会	東北太平洋南部海域におけるズワイガニ（オス）の最終脱皮割合の地理的変異	鷹崎和義 他	H22. 11. 6	仙台市
同 上	松川浦におけるサキグロタマツメタの移入と拡大	富山 毅 他	H22. 11. 6	同 上
2010 年度水産海洋学会研究発表大会	常磐海域におけるヒラメの食物利用の季節・場所間変異	富山 毅 他	H22. 11. 20	東京海洋大学
平成 22 年度東北ブロック底魚研究連絡会議	福島県における 2010 年のサメガレイ豊漁およびその予兆	鷹崎和義	H23. 3. 10	八戸市
同 上	ババガレイの漁場形成と底質の関係	早乙女忠弘	同 上	同 上
同 上	福島県におけるメイタガレイの漁獲について	伊藤貴之	H23. 3. 11	同 上
同 上	福島県におけるミギガレイの分布について	岩崎高資	同 上	同 上

(2) 投稿論文

投稿先	論文課題名	投稿者	印刷月
Fisheries Science 76 巻	本州東西沿岸域で採集されたババガレイ稚魚の初記載	和田敏裕他	H22. 11
東北底魚研究 30 号	福島県における 2009 年のマアナゴ、ノレソレの漁獲の特徴－II	鷹崎和義	H22. 12
同 上	福島県沖における着定トロール調査の採集魚種組成について	岩崎高資	同 上
Aquatic Biology 11 巻 3 号	ヒラメの食物利用と栄養状態の季節・場所間変異	富山 毅他	H23. 2
Conservation Genetics 12 巻	希少種ホシガレイの集団構造解析	関野正志他（和田敏裕、神山享一共著）	H23. 2

3 漁業者研修会の実施状況

年月日	研修等の名称	研修内容	対象者・人数	備考
H22. 4. 27	相双さし網漁業者協議会	マガレイの資源管理	相双漁協 漁業者 16名	相双漁協 相馬原釜本所
H22. 4. 28	平成 22 年度鮑雲丹増殖協議会	アワビの資源量推定	いわき市漁協採鮑 漁業者 30名	いわき市漁協 江名支所
H22. 5. 27	磯部ホッキ船主会	ホッキ漁期前調査結果検討	相双漁協磯部支所 漁業者 15名	相双漁協 磯部支所
H22. 6. 3	鳴瀬漁協青年部視察	環境保全及び改善に向けた取組み	宮城県鳴瀬漁協 漁業者 20名	相馬支場
H22. 7. 5	相双さし網漁業者協議会	ホシガレイの資源管理	相双漁協 漁業士 13名	相双漁協 相馬原釜本所
H22. 7. 31	青年漁業士講座	シラスの漁況予測等	青年漁業士 2名	相馬支場
H22. 8. 4	底びき網漁業者協議会	マアナゴ資源回復計画等 主要魚種の資源状態について	漁業者 15名	浪江フローラ
H22. 8. 11	底魚資源勉強会	主要な底魚類の資源動向	いわき市漁協 漁業者他 13名	いわき市漁協 久之浜本所
H22. 8. 11	底魚資源勉強会	主要な底魚類の資源動向	いわき市漁協 漁業者他 7名	いわき市漁協 沼之内支所
H22. 8. 12	底魚資源勉強会	主要な底魚類の資源動向	いわき市漁協 漁業者他 20名	いわき市漁協 勿来支所
H22. 8. 22	底魚資源勉強会	主要な底魚類の資源動向 ホシガレイ資源管理	相双漁協 漁業者他 29名	相双漁協 相馬原釜本所
H22. 9. 21	福島県鮭増殖協会組合長会議	サケ回帰状況と来遊予測	各河川鮭増殖組合長 代表漁業者 10名	熊川漁協
H22. 11. 12	相双さし網漁業者協議会	マコガレイの資源管理 沿岸性カレイ類の資源状況	相双漁協 漁業者 16名	相双漁協 相馬原釜本所
H22. 12. 10	ズワイガニ説明会	ズワイガニの最終脱皮について	相双漁協 漁業者 20名	東北水研主催 相双漁協 相馬原釜本所
H23. 1. 28	相双漁協相馬原釜支所沖底船頭会	福島県におけるマツカワの漁獲と生態	相双漁協 漁業者 20名	相双漁協 相馬原釜支所
H23. 2. 4	福島県漁青連リーダー研修会	沿岸性カレイ類の資源状況	漁業者等 65名	漁連主催 松柏館
H23. 2. 24	福島県漁業者協議会	平成 23 年度漁期のコウナゴ漁況の見通し	漁業者等 37名	漁連主催 相馬原釜本所
H23. 2. 25	相双漁協相馬原釜支所沖底船頭会	マアナゴの魚価安について	漁業者等 20名	於 相双漁協 相馬原釜支所

4 県民への研修会等の実施状況

年月日	研修等の名称	研修内容	対象者・人数	主催者 実施場所等
H22. 5. 30	磯と干潟の生物観察会	干潟、磯生物の観察支援、説明	県民 100名	相馬海浜自然の家主催
H22. 6. 12	平成 22 年水産少年教室(いわき地区)	干潟、磯生物の観察支援、説明	中学生 40名	福島県水産事務所・いわき市漁協四倉支所
H22. 7. 29	成蹊中学干潟観察会	松川浦干潟生物の観察支援、説明	中学生 30名	成蹊中学校主催
H22. 8. 1	きれいにしようそ うま SEA	タッチプール、パネル展示	県民 1,000名	相馬商工会議所青年部主催 於 相馬港
H22. 9. 21	飯豊小学校総合学習インタビュー	松川浦についての説明	小学5年生 11名	於 相馬支場
H22. 9. 25	大地の恵み感謝祭 in 南相馬	タッチプール、パネル展示	県民 3,000名	相馬農林事務所 於 道の駅南相馬
H22. 9. 29	職場体験	調査サンプル(魚)の精密測定	中学生 4名	内郷一中主催 水産試験場
H22. 10. 13	サケ採鱗実習	尾叉長、体重の測定、鱗採取	高校生 4名	いわき海星高校主催 木戸川漁協
H22. 10. 14	職場体験	調査サンプル(魚)の精密測定	中学生 4名	小名浜一中主催 水産試験場
H22. 10. 16	相馬原釜おさかな市	パネル、タッチプール、水槽展示	県民 500名	相馬農林事務所 於 道の駅南相馬
H23. 2. 20	カニまつり	パネル、タッチプール、水槽展示	県民 100名	相馬市 於 道の駅そうま

5 一般公開

(1) 月別見学者数

註) 小学生の引率者は一般に計上

(単位：人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
小学生	171	41	60	152		124	26						574
中学生													
一般	7	2	4	7		5	40		30				95
合計	178	43	64	159		129	66		30				669

(2) 水産試験場参観デー（福島県豊かな海づくり大会）開催状況

開催年月日	来場者数	公開内容
平成22年8月28日 9:00～15:00	600名	福島県豊かな海づくり大会 ちびっ子カツオ学習会
		ヒラメ稚魚放流 栽培漁業の取組紹介
		アクアマリン・うおのぞき見学 学習会、料理教室
		研究紹介コーナー 体験・観察コーナー
		研究成果展示、水産情報紹介
		ミニ水族館、タッチプール 食品官能試験、いきもの観察会 おさかなスケッチ、ロープワーク
試食コーナー	ミニ水族館、タッチプール 食品官能試験、いきもの観察会 おさかなスケッチ、ロープワーク	
販売コーナー	ホッキご飯（相馬双葉漁業協同組合 請戸支所 AGASSE の会）	

(3) 水産試験場ホームページによる情報公開

下記情報については、過去のデータが閲覧可能であるとともにテキスト形式でダウンロードが可能

ア 漁海況速報：原則、毎週金曜日に発行とホームページ公表

イ 月別水温情報：海洋観測結果を整理し、毎月1回ホームページ公表

ウ 定地水温情報：松川浦（水産試験場相馬支場）、大熊（水産種苗研究所）、小名浜（水産試験場）の3定地で観測時刻が松川浦 10:00、大熊 9:00、小名浜 10:00 の測定水温をホームページで公表

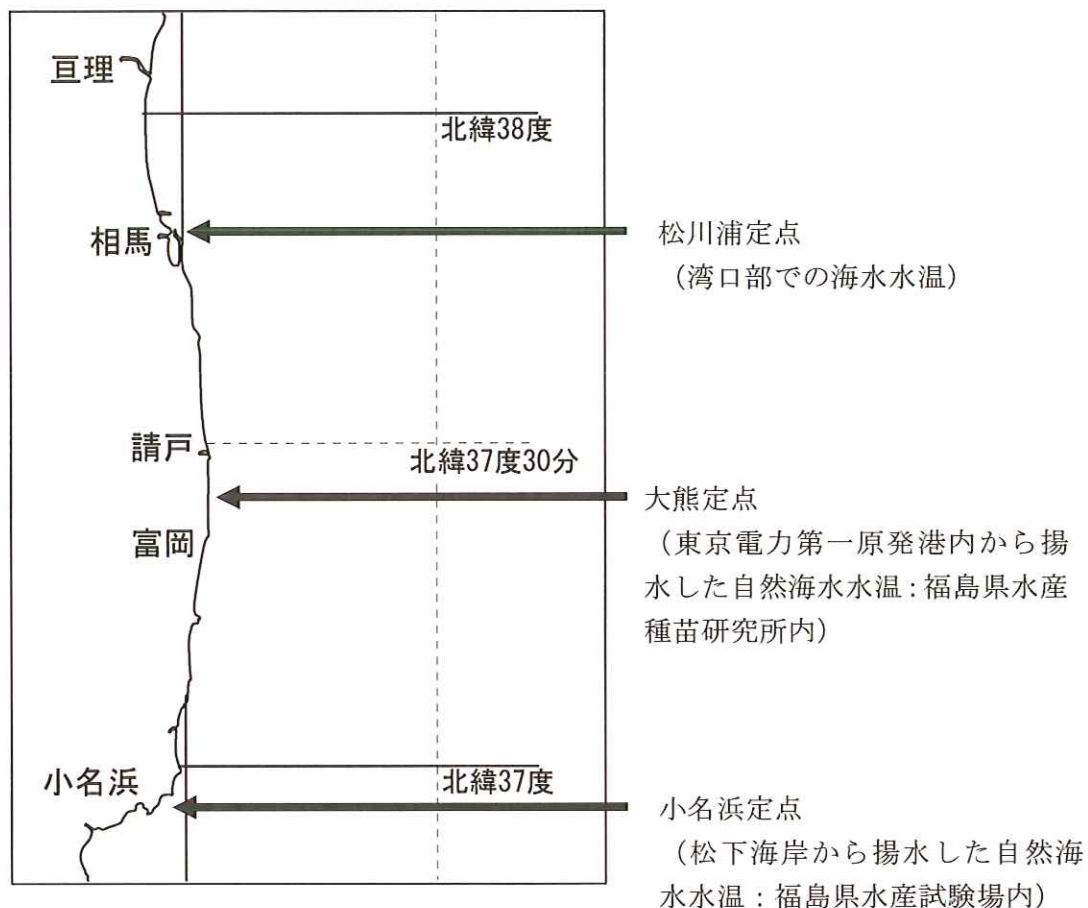


図1 定地水温の観測定点

IV トピックス・記録等

平成23年度東北地方太平洋沖地震による相馬支場の被害状況

涌井邦浩・神山亨一・鷹崎和義
富山毅・成田薫[※]・千代窪孝志[※]

目 的

平成23年3月11日14時46分に発生した平成23年東北地方太平洋沖地震（相馬市：震度6弱）（以下、地震）及びそれに伴う巨大津波（松川浦大橋橋脚最上部付近に達した）（以下、津波）により、当場は大きな被害を受けたことから、その概要を残す。

概 要

1 地震発生時の職員の状況

支場にいた職員は1名、2名は相馬双葉漁業協同組合松川浦支所（以下、岩子）に、1名は青森県八戸市に出張中であつた。また、水産事務所相馬駐在員（以下、普及員）2名も出張中であつた。

2 地震による被害

ロッカー等が倒れ書籍等が散乱したものの、建物にほとんど被害はなく、電気も通じており大きな被害はなかつた。

3 対応

津波警報（大津波）が発表されていたことから、岩子から戻つた職員を加え3名で、全職員のパソコンを当場の2階へ移動し、出張途中で戻つた普及員1名を加え、4名で隣接する高台の旅館「岬荘」へ避難した。また、併せて公用車3台も岬荘へ移動した。

4 津波による被害

地震発生約1時間後の津波は、当場の2階に達した（写真1）。

津波により、当場本館は残つたものの、飼育実験棟は土台と建屋が分離し、倉庫及び公舎は土台だけで建屋は残っていなかつた（津波前：写真2、津波後：写真3）。

本館内部は、事務室（写真4）及び普及員室（写真5）では机やロッカー等が全て流失し、実験室内（写真6）は、大型の実験台等に引っかかる形で資機材が散乱していた。暗室（薬品室）と恒温室（物品保管室）は、直接津波が流入しなかつたためか、室内に残つたものが多かつた。

この津波によって、薬品や水温塩分自動観測機等の一部のものを除き、パソコン、調査機材、軽トラック及び備品等は流失または使用不能となつた。調査船「かろうね」は、エンジンは使用不能となつたが、船体の損傷は軽微の状態に係留場所付近に打ち上げられていた。

※水産事務所相馬駐在



写真1 津波の中



写真2 津波前



写真3 津波後



写真4 事務室内



写真5 普及室内



写真6 実験室内

V 職員名簿

所 属	職 ・ 氏 名			
事 務 部	場 長	五十嵐 敏		
	副場長心得兼海洋漁業部長	河合 孝		
	事務長	平山 茂樹	主 査	添田 尊
	主 事	中村 大	嘱託運転手	仲村 允武
栽培漁業部	部 長	松本 育夫	副主任研究員	和田 敏裕
	研究員	新関 晃司	研究員	平川 直人
水産資源部	部 長	佐藤美智男	副主任研究員	早乙女忠弘
	研究員	伊藤 貴之	研究員	岩崎 高資
海洋漁業部	副場長心得兼海洋漁業部長	河合 孝	主任研究員	川田 暁
	主任研究員	佐藤 利幸		
調査指導船 いわき丸	船長	伊藤 勝彦	機関長	黒川 義彦
	通信長心得	鈴木 正剛	主査(兼)一等航海士	須賀 浩司
	主査(兼)一等機関士	奥藤 賢	技師(兼)二等航海士	尺田 光
	技師(兼)二等機関士	今泉 正亮	技師(兼)二等航海士	小塚 智也
	技師(兼)二等航海士	圓谷 啓	技師(兼)二等機関士	福林 悠
	技師(兼)二等航海士	重軒 崇志	技師(兼)二等機関士	佐々木和幸
	主任技能員(兼)給食員	松本 米壽	主任技能員	新田 勝己
調査指導船 拓 水	船長心得	和田 督士	機関長	永山 清友
	技師(兼)一等航海士	藤 健太郎	通信技師	村上 貴宏
漁場環境部	部 長	山本 達也	主任研究員	島村 信也
	副主任研究員	富谷 敦		
相馬支場	支場長	涌井 邦浩	主任研究員	神山 享一
	主任研究員	鷹崎 和義	主任研究員	富山 毅

注) 平成 23 年 3 月 31 日現在

平成23年11月

福島県水産試験場事業概要報告書（平成22年度）

発行 福島県水産試験場

住所 〒970-0316

福島県いわき市小名浜下神白字松下13-2

電話 0246-54-3151～3

FAX 0246-54-9099

ホームページ <http://www.pref.fukushima.jp/suisan-shiken/index.htm>
